

とれしび



第148号

平成31年1月1日

題字は(故)黒川利雄博士

検診の 特色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理

早期発見
早期治療



がん検診は
定期的!

グーチちゃん

がん助くん

宮城県がん征圧イメージキャラクター



久道会長が涌谷町の名誉町民になりました



目次

新春のご挨拶	2
久道会長 涌谷町名誉町民推戴	3
一番町啓発行進、がん征圧全国大会	4
がん講演会、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018みやぎ	5
事業説明会、がん予防研修会	6
がん検診センター健康まつり	7
市町村健康まつり、ピンクリボン講演会	8
みやぎよろこびの会お別れ会	9
めざせ!がん検診受診率70%への道	10
健康へのススメ	11
ご寄付をいただいた方々、継続寄付のお願い	13
平成31年度黒川利雄がん研究基金研究助成金募集のお知らせ	16

新春のご挨拶



公益財団法人
宮城県対がん協会
会長 久道 茂

新年明けましておめでとうございます。

当協会は、昭和33年の創設以来「がん征圧」を設立目標にかかげ、東北大学をはじめとして、宮城県医師会、縣市町村、経済界等関係団体、検診実施主体の皆様のご指導、ご協力をいただきながら、がんの1次予防、がんの早期発見と治療に関する研究とその助成、啓発活動、検診事業及びがん患者やその家族への相談支援などを進めてまいりました。これまで多くの方々をがん死亡から救命しております。

しかし、いまだに日本人の死因の第一位はがんです。罹患数予測では101万4000人、死亡数予測では37万8000人と計算され、年間100万人を超える時代を迎えたこととなります。がん対策がいかに重要かお分かりでしょう。

私の個人的なことになりますが、平成29年6月に「山上の光賞」を、同年9月には「朝日がん大賞」を受賞、平成30年10月には宮城県涌谷町名誉町民に推戴されるという吉事が続きました。その理由はそれぞれ違いますが、その中心となるものはがん予防対策に関する研究と実績に対する貢献度を評価されたものでした。関係する多くの方々の仕事を私が代表していただいたものですが、長年かけて実施した研究をやっと理解してもらえたかという喜びでいっぱいでした。

われわれの公衆衛生学分野で用いる疫学研究手法は、動物実験で薬の効果や副作用を見るのと違って、研究の対象は人間集団でその多くはその時点で正常な方々であるという特徴があります。生身の人間ですから動物の様に一定の管理下に置くことはできません。自分の意志で普通に食事し普通に行動します。しかも、数万人という規模の数が必要で、準備に2~3年は掛かります。目標とするエンドポイントは病気の発生(罹患率)や死亡(死亡率)です。短期間では測定が不可能ですし、転居や行方不明もあって追跡調査はさらに大変です。結果が出るまで短くても5年、多くは10年以上の観察期間が必要です。結果が正しかったかどうかの評価には、さらに5~10年かかります。

実際、われわれが手掛けた複数の大規模疫学研究の一つである宮城県がん予防対策特別調査事業は、約5万人を対象に平成2年に開始され、がん検診の死亡率減少効果やがん発生の各種リスク要因を明らかにしました。それらの成果に対して、研究を開始して28年もかかって賞を戴いたこととなります。多くの方々の協力のお蔭です。それにしても疫学研究は、実に時間のかかる極めて大切な研究だとしみじみ感じました。

久道会長が涌谷町の名誉町民に

10月23日(火)、涌谷公民館交流ホールにおいて、涌谷町名誉町民推戴式が開催され、公益財団法人 宮城県対がん協会 久道 茂 会長が涌谷町の名誉町民に推戴されました。

涌谷町名誉町民とは、政治、経済、学術、技芸その他涌谷町の文化の進展に寄与し、その実績が極めて大きく涌谷町民の尊敬を受けている涌谷町に縁の深い方に対して、推挙し事績をたたえるものです。

推戴事由は『涌谷町本町で生まれた氏は、東北大学卒業後、様々な研究を行い、東北大学医学部長時代にまとめた各種がん検診の報告書は、今日のがん検診の明確な指針となりました。また、国及び地方の公衆衛生行政における活動に尽力され、生活習慣病全般に関する厚生労働省の各種委員会の委員として、国の重要な意思決定に参画し、平成14年には東北大学名誉教授に任命されました。

宮城県においては、宮城県病院事業管理者及び宮城県立がんセンター総長を務め、平成19年からは第5代宮城県対がん協会会長として、現在まで長年にわたってがんの予防と検診の普及に

大きく貢献されました。

さらに、涌谷町に対しては、昭和63年に事業採択された自治省(現総務省)のリーディングプロジェクト事業「涌谷町健康と福祉の丘のあるまちづくり事業」において、準備の段階からオープン後も東北大学教授としての高い見識からの指導・助言を行い、町の最重要課題であった病院問題の解決や現在行われている疾病予防のためのさまざまな健康づくり事業等、町民の健康保持と保健・福祉の向上に寄与された功績は誠に顕著であり、それらの事績を永く顕彰するため、涌谷町名誉町民として推戴します。』

と、あります。(涌谷町名誉町民推戴式次第より抜粋)

涌谷町の名誉町民は条例が昭和43年に公布・施行されてから8人目の名誉で、これにより久道会長のお名前は涌谷町名誉町民台帳に登録され、永久に保存されることになりました。

久道会長は平成29年に山上の光賞、朝日がん大賞を受賞されたばかりですが、また新たに栄冠が加わりました。





一番町啓発行進

9月2日(日)、11回目となる一番町啓発行進を実施しました。当日は台風が心配されましたが、何とか小雨程度で収まってくれました。職員、職員の家族、宮城県、仙台市、宮婦連、がん検診受診率向上に向けた協定企業および関連企業の皆さんに多数(約50名)参加していただき、総勢172名となりました。みんなで一つになって「年に一度は、がん検診をうけましょう〜!」「大切な、あなたと一緒にがん検診」と大きな声でがん検診の大切さを街行く人に呼び掛けました。当日は昨年と同様に、アーケード街で“まちくる仙台”が主催す

る大道芸のイベントが行われていました。たくさんの人がある中での行進はPR効果も高かったのではないかと思います。



がん征圧全国大会について

公益財団法人日本対がん協会では、毎年9月を「がん征圧月間」と位置づけ、全国各地でがん予防、がんの知識と検診の重要性を伝える啓発活動が繰り広げられています。その中心行事である「がん征圧全国大会」は各地で活動している人たちが年に1回、一堂に会して「がん征圧」への決意を新たにする機会です。2018年は公益財団法人ちば県民保健予防財団との共催で、千葉県千葉市幕張メッセ国際会議場コンベンションホールにて「千葉から全国へ みんなで広げるがん征圧の輪」をテーマに9月14日に開催されました。

がん征圧全国大会では「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」「がん征圧スローガン入選者」「永年勤続者」「日本対がん協会創立60周年記念功労者」の表彰が行われ、その後「明るくさわやかに生きる〜アグネスが見つめた生命〜」と題し、

日本対がん協会のほほえみ大使として協会の活動を支援しているアグネス・チャンさんより記念講演が行われました。講演では自身の乳がん闘病体験に基づき、検診受診の必要性、早期発見・早期治療の重要性、そして前向きにがん向き合う姿勢の大切さをお話ししてくださいました。笑いあり、涙ありの素晴らしい時間でした。



がん講演会及びパネル展

平成30年度がん征圧月間行事の「がん講演会」及び「がん予防パネル展」が青葉区中央の仙台市シルバーセンター交流ホールにおいて9月20日(木)に開催されました。

「がん講演会」では、当協会がん検診センターの渋谷所長から、「がんを予防しよう」～生活習慣と検診の大切さ～というテーマで講演が行われ、若い世代から年配の方まで幅広い年齢層の方々約160名が参加され、がんを予防するためにはどんなことが必要か改めて考える機会になったのではないかと思います。

今後の検診受診のきっかけになることを期待したいと思いました。

ホールロビーで行った「がん予防パネル展」では、パネルの展示を行った他、胃ファイバースコー



プの模型で、胃の疾患を見たり、顕微鏡でがん細胞を覗いたり、乳房の視触診模型を使って数力所のしこりを実際に触ってその感触を体験していただきました。

今年は、当協会創立60周年を迎えたこともあり、記念に作成した60周年デザイン入りエコバッグに資料やポケットティッシュを入れて配布するなどして、がん予防の啓発活動に繋げることができました。



リレー・フォー・ライフ

9月29日(土)～9月30日(日)に記念すべき第10回となるリレー・フォー・ライフ・ジャパン2018みやぎが、仙台市青葉区にある仙台国際センター内せんだい青葉山交流広場で開催されました。当日は台風が近づいてきており、雨が降ったり止んだりを繰り返している中で、チアダンスや弾き語り、青空応援団のエール等、多くの催し事がありました。当協会は今年もブースとチームの両方で参加しました。

今年の周回数1位の方と、2位の方はとある有名な映画のコスプレをされたご夫婦で、なんと奥様はサバイバーでいらっしゃいました。元気そうに歩いている姿がとても印象的でした(著作権の関係で写真は掲載できませんが・・・)。残念ながら台風が本格的に近づいてきたため、1時間繰り上げての閉会式となってしまいましたが、心温まるエンディングとなりました。



後日、がん患者会で作る“ネットワークみやぎ”に加盟している「[えがお]タオル帽子工房&相談室”の小野寺幸枝さんが、リレー・フォー・ライフを記念して帽子を作ってくださいました。

平成31年度がん検診事業説明会並びにがん予防研修会

【事業説明会】

平成31年度のがん検診事業説明会が、市町村及び事業所の担当の方々に参加していただき10月4日(木)にフォレスト仙台において開催されました。久道会長の挨拶に始まり、阿部事務局長から平成31年度における各種がん検診計画について、一次検診の方法や検査の方針、宮城県対がん協会が重要視している精度管理の高さと必要性について説明をいたしました。

その後、がん検診センターの加藤副所長から「宮城県の胃内視鏡検診について」と題して、現在検討されている、胃がん検診における内視鏡を使った一次検診の方法や、課題となっている精度管理の方法等についての説明をいたしました。参加されたご担当の皆様は、これから導入が進むであろう胃内視鏡検診の話題ということで、真剣に聞いていらっしゃいました。



【がん予防研修会】

がん検診事業説明会に引き続き午後からは、がん予防研修会が行われました。

前半は、東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野の辻一郎教授から「宮城県がん予防対策特別調査事業について」という演題で、がんの一次予防、二次予防両者を含めた適正な予防対策を講じるための情報を得ることを目的として、平成2年から宮城県内14町村の40～64歳住民約5万人を対象に訪問調査を実施し、その分析結果を詳しく報告していただきました。

休憩を挟んで、宮城県保健福祉部健康推進課がん対策班の千葉圭子さんから「宮城県からのお知らせ」という事で、がん検診精度管理調査についてと、平成30年4月1日から、がん患者への医療用ウィッグ購入助成事業費が補助されるアピアランス支援事業について説明がありました。

その後、青森県立中央病院医療顧問の斎藤博先生から「世界の潮流からみた日本のがん検診」について話され、日本は世界の潮流と逆行し成果が上がらない要因を、国際標準の検診の原則

の理解がないこと、科学的根拠が前提であること、精度管理体制の整備が必須であること、不利益の最小化と述べられ講演を終了しました。



がん検診センター健康まつり



10月6日(土)に公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センターで健康まつりが開催されました。がん検診センターで健康まつりが開かれるのは、平成26年以来4年ぶりです。午前中は乗馬学校のご協力により、馬とふれあい体験ができるブースを設けることができました。午後からは高

速道路で働く車の展示をしました。ふだんは大人しか来ることのないがん検診センターですが、健康まつりということで多くの子どもたちが来てくれました。お馬さんにえさをあげたり、怖がりながら首をなでたり、働く車と楽しそうに写真を撮る様子にこちらも元気をもらうことができました。



なんと3頭も来てくれました。白いお馬さんが人気でした。



簡単計測コーナーは大人たちから人気でした。



ストラップ作りではたくさんの方に来てもらって材料が足りなくなる一幕も。



がん予防展示コーナーとがん無料相談コーナー

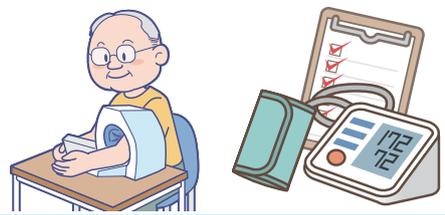
▲バルーンアートは見よう見まねで作れちゃうお子さんまでいました。才能ってすごい。



午後からはお馬さんが帰って、働く車の展示コーナーに早変わり。チョコQまでもらえます。



毎回好評の販売コーナー。ほとんど売り切れました。



市町村健康まつり



石巻市健康まつり



色麻町健康まつり



柴田町健康まつり



登米市健康まつり



山元町健康まつり



大崎市健康まつり

今年も各地で、健康まつりが開催されました。今年度は、5/26の登米市を皮切りに、11/17の栗原市健康まつりまで、延べ13日間11地区で開催されました。開催される市町村にもよりますが、健康まつり+講演、町を挙げての産業まつり+健康まつり等色々と、趣向を凝らして行っています。

また今年度は、宮城県対がん協会創立60周年に当たり、協会ブース来場者100名様限定で「がん予防クイズ」に参加して頂いた方に、お洒落なエコバックを差し上げて大好評でした。クイズは、展示パネルの中にヒントが隠されている為、皆さん必死に「にらめっこ」しながら、回答を探していました。



ピンクリボン仙台推進委員会講演会



乳がんの早期発見・早期治療の大切さを訴える「ピンクリボンマイルウォーク仙台大会」の後継企画で、乳がん検診を啓発する活動の在り方を考えるピンクリボン仙台推進委員会講演会が10月21日(日)に東北福祉大学仙台駅東口キャンパスで開催され、約90名の参加者が熱心に耳を傾けていました。

当日は、リレートーク形式で東北医科薬科大学の鈴木昭彦教授から「乳がんに関する最新動向について」、東北公済病院の長谷川志賀子診療放射線技師から「マンモグラフィについて」、東北医科薬科大学病院の山中仁美副診療放射線技師長から「乳がんは怖くない」という演題で講演されました。その後のパネルディスカッションでは、キューオーエルの横山英子理事長をコーディネーターと

し、朝日新聞社メディアラボ中西知子プロデューサーと仙台市の小林浩子健康政策課長も加わりピンクリボン活動の経緯、今後の仙台におけるピンクリボン活動の在り方の他、がん患者や家族、職場の支援等がんと共生をテーマにそれぞれの立場から話を聞くことができました。

特に、企業のがん検診は行政の住民検診と違い制度化されていないことや、実際、乳がんの闘病体験を基にした内容を盛り込んで話されるなど、一般市民にとっては、がんは治る病気だということが身近に感じられたのではないかと思います。また、どのパネリストの方々の内容も乳がん検診の大切さを伝える興味深い内容だったので、今後も仙台市におけるピンクリボン活動に期待したいと思っています。



みやぎよろこびの会お別れ会



8/1よろこびの会役員並びに関係者参加のお別れ会となりました。



石川会長、長い間お疲れ様でした。

長年にわたり皆様方より、多大なるご支援ご協力を賜り、会の運営をしてまいりましたが、市町村合併、個人情報保護法等により新規会員の減少、また高齢化による会員の減少が著しく、財政的にも会の存続が非常に厳しい状況となり平成30年3月末の役員会におきまして、50年間長きに渡り活動して参りました「みやぎよろこびの会」を解散するに至りました。

この間の、みやぎよろこびの会の活動は大変意義があったと確信しております。黒川先生の肝いりで、全国初のがん患者会を立ち上げ「がんを克服した生き証人」としての早期発見・早期治療の普及啓発活動や、全国よろこびの会の設立に

関与し、多くの患者会の礎を築いたのは言うまでもありません。これは、みやぎよろこびの会の活動が多くの人々に認められた結果だと自負しております。

また、会は解散致しますが、私たちの目的である「がん征圧」は終わったわけではありません。これまでの経験を活かしながら、早期発見・早期治療、更には検診未受診者への受診勧奨など普及啓発を引き続き訴えてまいります。

永年に渡りご支援ご協力をいただきました、各市町村担当者様には、この場をお借りして、御礼を申し上げます。



昨年10月20日に仙台で開催されました、第50回みやぎよろこびの会記念大会が、最後の大会となりました。役員並びに会員の皆さん長い間ご苦労様でした。

めざせ! がん検診受診率 70%への道

in 名取市

宮城県のがん検診受診率は高く、国内でも有数の検診体制を誇ります。宮城県では、県内の受診率を70%に上げることを目標に掲げ、各市町村や企業などの実施主体がいろいろなアイデアを出して頑張っています。ですが、なかなか受診率は伸び悩み、人口の減少もあって、かえって受診者数が減っている市町村がほとんどです。そんな県内の市町村にあって、今年胃がん検診の受診者数が増えた市町村の一つが名取市です。今回は名取市で検診を担当されている健康福祉部の安部さんと高橋さんにお話を聞いてきました。



左から高橋さん、安部さん、一番右は対がん協会の名取市担当大友

Q 改めて名取市の検診申し込みと検診方式を教えてください。

A 名取市は世帯ごとに申込み用紙を送付し、郵送かFAX、あるいはホームページからも申し込みができます。検診は一部の会場で胃がん検診と大腸がん検診を合わせて行います。また特定健診の会場でも大腸がん検診の検体を提出できるようにするなど、いくつかの検診を組み合わせるようになっています。その後、受診しなかった方を集めてもう一度検診を実施しています。対象となる市民に封書で案内通知を送り、FAXか電話であらためて申込みを取ります。

Q 受診を勧めるためにどんなことをしていますか？

A 未受診の方を集めて検診を行うときの案内を送る際に、併せて40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳の中で、もともとの申込書を返していない方にも案内通知を送って申込みを促しています。今年は2,900人を超える方にそういったご案内を送りました。(※名取市の人口は7.8万人)

Q 他に何か工夫していることはありますか？

A 転入してくる方のために、市民課の窓口で渡す書類一式の中に検診の申込書を入れてあります。他にも、毎年各世帯に配布する名取市の“医療・介護サービスマップ”の中に検診の案内が書いてあるのですが、以前は日程を「〇月頃」という記載の仕方をしていましたが、今年から会場と日時を細かく書くようにしました。“何かの都合で検診の会場が変更になったりしたらどうしよう”という不安もありましたが、住民にとって予定が立てやすくなってよくなったと思います。

Q 名取市の今年受診者数が増えたのはなぜだと思いますか？

A 昨年下がったので、その分が返ってきたのではないかと考えています(笑)。あるいは検診の受診券を送る際に受けたいかなるようなリーフレットを入れたりもしたので、それも良かったのかもしれません。同じ検診でも案内を増やしてお知らせをすれば受診数は伸びる気がします。

Q さて、ちょっと趣旨の違う質問ですが、宮城県対がん協会の検診の魅力はなんですか？

A がん検診の専門ということで、任せて安心という思いがあります。住民の方からも信用されている気がします。今後とも信用に応えていただけるように共に頑張っていければと思います。

楽しくお話しをしていたら、1時間もたっていました。この他にもたくさんのことをお話いただいたのですが、紙面の都合で掲載できませんでした。お忙しいところ取材させていただき、ありがとうございました。

平成29年当時40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳の追加の申し込みを送った方の受診状況を調べてみました。案内を受け取った方の初回受診率が高いことがわかります。翌年は案内をもらっていないのに、30年度になってからも初回の方が多いことから、29年に案内をもらって「来年は受けよう」と思った方がけっこういるのかもしれません。残念ながら2年連続受診者の割合は案内を受け取った方の方が低くなっています。



名取市の胃がん検診の様子。11月に行った未受診者を集めた企画での受付風景。



大腸がん検診の検体も同じ会場でも提出できます。大腸がん検診はなんと無料。市が負担してくれます。

Q 検診をやってよかったと思うことはなんですか？

A 当たり前のことかもしれませんが、住民と話しているふとした際に、市の検診でがんが早期発見できたと言われて、お元気そうな姿を見ていると、うれしくなります。



お断りして胃がん検診車内の様子も撮影させてもらいました。

平成29年の受診勧奨 (40・45・50・55・60・65歳も未回答者に再送付)の結果							
	H29			H30			初回から連続受診者
	受診	内初回	初回率	受診	内初回	初回率	
全体	4,886	736	15.1%	4,920	701	14.2%	309
H29案内送付	74	59	79.7%	47	20	42.6%	9

健康へのススメ

ウォーキングはいいことたくさん!!
今よりプラス10分歩く時間を多くしましょう。

① からだの健康によい!

血液中の中性脂肪の数値が下がったり、内臓脂肪や皮下脂肪が減って、肥満の解消につながります。高血圧や糖尿病、脳卒中などの予防改善効果もあります。

② 老化防止によい!

ウォーキングは動脈硬化を予防するだけでなく、すでに硬くなった血管を柔らかくする効果があると分かってきました。また、変形性膝関節症の改善や認知症の予防にも効果があると立証されてきています。風景から入ってくる情報や道順を確かめながら歩いたり、外出の立案計画をすることで脳の活性化になります。

③ 美容によい!

脂肪燃焼効果、ウエストやヒップなどのシェイプアップ効果もあります。さらに歩くことは腸の刺激になるので、お通じがよくなり、それに伴うウエストのサイズダウンや美肌効果なども期待できます。

④ 心の健康によい!

早く歩けばストレス解消になり、ゆっくり呼吸しながら歩けば、副交感神経が刺激されリラックスします。

その人の年齢や体力などによって「正しい歩き方」は変わってきます。病気やからだに痛みのある人は、それぞれの症状に応じて、歩き方を変える必要があります。

『自分に合った歩き方』を見つければ、ウォーキングを楽しく続けることができます。

健康へのススメ

自分にあったウォーキングをしよう

腰痛のある人向け

POINT
👉 腰で支えずお腹で支える

おへその下にきゅっと力を入れ、顔をまっすぐに向ける。前についた足の指で地面をつかむと、反りにくく猫背になりにくくなる。



ひざ痛のある人向け

POINT
👉 ひざまわりの筋肉を使う

ひざにゆるみをもたせ、足の裏の真上にひざが乗っかるように着地する。ひざと足先の向きが同じ方向を向くようにする。痛む時の大股歩きは禁物。



姿勢が悪い人向け

POINT
👉 姿勢を意識して歩く

胸を開き、頭が上へ引っ張る感覚で背筋を伸ばす。おへそに力を入れて腕を後ろに振るようになる。足でしっかり地面を踏み、体全体を前に運んで歩く。



生活習慣病の人向け

POINT
👉 目標心拍数をキープする

腕を後ろに意識して大きめに振ると歩幅が広がる。ややきつと感じるくらいの速さで歩く。



■篤志寄付金

佐藤秀逸、津田善造、津田幸子、桂蘭会、女川町、櫻井征夫、菊地永一郎、小山広人、佐々木茂、西川一枝、街頭活動委員会、加美郡学校保健会会長阿部陽介

■黒川基金

石川司之、みやぎよろこびの会仙台支部、みやぎよろこびの会山元支部、みやぎよろこびの会涌谷支部、菊地永一郎

■新検診センター建設基金

石川司之、菊地永一郎、小齋秋、青木晶、高橋裕子

■特定維持会員

カガワ印刷株式会社、イシイ株式会社、株式会社仙台銀行、小林クワイエイト株式会社東北営業部

■賛助会員（議会）

塩竈市議会、名取市議会議員会、多賀城市議会、蔵王町議会、七ヶ宿町議会、大河原町議会議員互助会、村田町議会、柴田町議会、丸森町議会、亘理町議会議員会、山元町議会、松島町議会、利府町議会、富谷市議会、大衡村議会、色麻町議会、美里町議会、栗原市議会、東松島市議会、石巻市議会議員会

岩沼市議会：布田恵美、長田忠広、渡邊ふさ子、高橋光孝

大和町議会：今野善行、浅野俊彦、千坂裕春、渡辺良雄、門間浩宇、槻田雅之、藤巻博史、平渡高志、高平聡雄、馬場久雄、中川久男、堀籠日出子、大須賀啓、千坂博行、今野信一、犬飼克子、馬場良勝

涌谷町議会：竹中弘光、佐々木敏雄、佐々木みさ子、稲葉定、大友啓一、只野順、後藤洋一、久勉、杉浦謙一、門田善則、大泉治、鈴木英雅、遠藤釈雄

大郷町議会：赤間茂幸、大友三男、佐藤千加雄、熱海文義、石川壽和、若生寛、赤間滋、和賀直義、高橋重信、高橋壽一、石川秀雄、千葉勇治、吉田茂美、石川良彦

■賛助会員（法人）

アフラック仙台総合支社、熱海建設株式会社、渥美工業(株)仙台支店、(株)イメージパーク、石巻魚糧工業株式会社、石巻商工会議所、有限会社上杉会計事務所、(有)おでん三吉、株式会社小田島、奥山工業株式会社、勝山企業株式会社、カメイ株式会社、上西産業株式会社、カイリク株式会社、(株)銀座薬局、クリア工業株式会社、弘進ゴム株式会社、株式会社小山商会、気仙沼商工会議所、(株)三陸新報社、株式会社佐々直、(株)三株園茶舗、株式会社佐藤製線所、株式会社佐浦、株式会社白松がモナカ本舗、(株)ショクテン、塩釜商工会議所、志津川オリエン工業株式会社、仙台商工会議所、仙南信用金庫、仙台弁護士会、株式会社仙台放送、仙台ガス保安工事(株)、宮城中央ヤクルト販売株式会社、白石商工会議所、武田雅比人、ツバキ薬局、東北放送株式会社、株式会社東北プリント、東北総合信用保証株式会社、アルプス電気株式会社、東北特殊工業株式会社、東北福祉大学、常盤洋紙株式会社、常盤化工株式会社、東日本興業株式会社、宮城商事株式会社、株式会社ひまわり薬局、(株)藤崎、(株)文化堂、有限会社ふじや千舟、古川商工会議所、株式会社リバーヴ、松林商事株式会社、松田産業株式会社、宮城県中小企業団体中央会、宮城十條林産株式会社、株式会社宮城テレビ放送、宮城県宅地建物取引業協会、宮城石灰工業株式会社、学校法人朴沢学園、株式会社メガネの相沢、株式会社渡辺採種場、ワタヒョウ株式会社、涌谷観光株式会社、有限会社アツミ自動車、株式会社ヨコハマタイヤサービス東北、カメイ物流サービス株式会社、株式会社羽田電機工業所、宮交自動車整備株式会社、東興産機株式会社、仙台和光純薬株式会社、株式会社石井組、宮城県自動車事業協同組

合、株式会社佐々啓、仙台画像検診クリニック、株式会社T. D. Cダスキントカハシ、公益社団法人仙台市防災安全協会、東北鉄骨橋梁株式会社、マルニ食品株式会社、(株)新日電業商会、気仙沼築業株式会社、菅基建設株式会社、石巻信用金庫、株式会社渡會、若生工業株式会社、株式会社深松組、有限会社サトー孔版印刷、大和証券(株)仙台支店、青葉緑化工業株式会社、株式会社あさの、(有)三治郎旅館、株式会社イート、暁星園、学校法人明和学園いずみ高等支援学校

■賛助会員（農協）

JAみやぎ女性組織協議会、みやぎ仙南農業協同組合、あさひな農業協同組合、みどりの農業協同組合、栗つこ農業協同組合、JA仙台、みやぎ登米農業協同組合、南三陸農業協同組合、宮城県農業協同組合中央会

■賛助会員（医師会）

仙台市医師会：阿部信彦、医療法人社団相田内科医院、阿部内視鏡内科、井上廉、いのうえ小児科クリニック、泉ヶ丘クリニック、今井克彦、五十嵐稔、シャンポール青葉産婦人科、大澤内科医院、岡村婦人科クリニック、医療法人楽生会奥口内科クリニック、小野寺内科小児科胃腸科医院、大山医院、南光台伊藤クリニック、遠藤外科医院、大和耳鼻咽喉科医院、菊地眼科医院、京極クリニック、袋原内科医院、泉パークタウンクリニック、医療法人社団小林眼科医院、婦人科クリニック古賀、小児内科医院、医療法人きんばらクリニック、医療法人桑友会佐藤裕也眼科医院、医療法人社団櫻井内科医院、中田内科胃腸科医院、佐藤茂、庄司真、公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院、佐藤玄徳内科クリニック、椎葉健一、齋藤内科医院、台原高柳病院、武山恒男、千葉内科医院、千田典男、高橋メンタルクリニック、塚本二郎、武田鐵太郎、豊田隆謙、社会医療法人康陽会中嶋病院、長池産婦人科、長島内科医院、名倉宏、医療法人社団長谷川眼科医院、長谷川小児科医院、早川医院、早坂愛生会病院、医療法人社団杏仁会河原町病院、堀克孝、堀田内科、藤田直孝、本田毅彦、町田眼科医院、宮田隆光、森俊彦、師研也、森元富造、安田病院、湯村医院、医療法人結城クリニック、泉内科消化器科、医療法人社団渡辺内科胃腸科医院、妹尾重晴、今井克忠、はんざわ内科胃腸科、樋渡信夫、まつばら水の森クリニック、医療法人仙台胃腸クリニック、曾根眞一郎、今野豊、内科・胃腸科小田原クリニック、仙台今村クリニック、宮崎豊、猪岡英二、山口胃腸科外科医院、作山昌則、医療法人翔仁会、丹野恭夫、かかず整形外科、新井宣博、和田裕子、医療法人岩切病院、医療法人社団フォーギブネス、医療法人秀放会、医療法人松田会松田病院、(医)社団福室クリニック、医療法人社団村口きよ女性クリニック、公益財団法人宮城厚生協会長町病院、仙台北部整形外科、北中山皮膚科、仙台赤十字病院、加茂耳鼻咽喉科、医療法人大史会、東北医科薬科大学病院、国家公務員共済組合連合会東北公済病院、泉レディースクリニック、医療法人ひろせ会、武者クリニック、ふるさと往診クリニック、南中山内科クリニック、高橋剛、長崎医院、一般財団法人厚生会、医療法人社団結城産婦人科医院、医療法人社団三好耳鼻咽喉科クリニック、やたべ訪問診療クリニック、一般財団法人広南会、佐藤彰、医療法人子羊会、医療法人社団清山会介護老人保健施設さくらの杜、うちだクリニック、馬場眼科、穴戸クリニック、医療法人社団宏洋会清水内科外科医院、仙台南病院、かさい内科クリニック、医療法人社団仙台腎泌尿器科、五十嵐産婦人科医院、医療法人社団あきもとクリニック、宮澤循環器科内科クリニック、永沼昭太郎、遊佐明、医療法人社団永井小児科医院、山本眼科医院、氏家裕明、医療法人社団白根胃腸クリニック

遠田郡医師会：医療法人社団博亮会野崎病院、医療法人社団順神会
佐々木整形外科、美里町立南郷病院、熱海医院、袖井クリニック、涌
谷町国民健康保険病院

塩釜医師会：赤石病院、今井信行、岩井内科クリニック、医療法人社団
幸和会、及川潤一、大井皮膚科泌尿器科、金医院、公益財団法人宮城
厚生協会坂総合病院、公益社団法人宮城県塩釜医師会消化器部会、
塩竈市立病院、医療法人社団鈴木眼科医院、関晴夫、医療法人實樹
会仙塩利府病院、高橋晋、鳥越塩釜腎クリニック、(医)中山クリニック、
青葉台クリニック、平澤頼久、医療法人社団景雄会藤野整形外科、医
療法人社団中正会本間医院、多賀城腎・泌尿器クリニック、医療法人
友仁会松島病院、無量井泰、山田内科医院、渡辺眼科、笠神ハートク
リニック、医療法人社団俊仁会、遠藤レディースクリニック、遠藤医院、(医)
さわおとクリニック、医療法人卓敬会まえひろクリニック、医療法人社団
横山小児科医院、角田和彦、ささき内科呼吸器科、大井産婦人科、医療法人社団
喜英会加瀬クリニック、じょうなんファミリークリニック、杉山内科

加美郡医師会：医療法人社団伊藤医院、医療法人社団鈴木内科医院、
加美郡保健医療福祉行政事務組合、医療法人佐々木胃腸科

角田市医師会：(医)安達同済会同済病院、高山敦、金上病院、(医)社
団小川整形外科クリニック、医療法人本多友愛会、ウイメンズクリニック
金上

岩沼市医師会：(医)丹誠会丹野医院、青木神経科内科クリニック、有
田大作、中川榮子、医療法人五葉会山本クリニック、医療法人社団み
やぎ清耀会緑の里クリニック、町田幸雄、板橋眼科医院、医療法人社
団スズキ病院

気仙沼市医師会：医療法人移川哲仁会、大里胃腸科内科婦人科医院、
葛内科胃腸科医院、森田医院、大友病院、森産婦人科医院、猪苗代病
院、おだか医院、気仙沼市立本吉病院、三条小児科医院、村岡外科ク
リニック、ささはら総合診療科、齋藤外科クリニック、小野医院、小松
クリニック、あいざわクリニック

栗原市医師会：医療法人社団玄成会達内科、栗原市立栗駒病院、志
波姫診療所、医療法人社団ささき産婦人科クリニック、栗原市立栗原
中央病院、渡邊由美子、栗原市立若柳病院、医療法人社団公和会き
くた内科クリニック、一迫内科クリニック、若柳消化器内科、宮城島ク
リニック、佐藤尚、高橋ハートクリニック

黒川医師会：公立黒川病院、富谷医院、ちば小児科医院、新富谷S・S
レディースクリニック

柴田郡医師会：みやぎ県南中核病院、大沼胃腸科内科外科医院、(医)
玉川太田内科、甘糟仁、みやぎ県南医療生活協同組合、医療法人社団
北社会船岡今野病院、宮上順志、国民健康保険川崎病院、医療法人
庄司クリニック、やすだ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック、いのま
た胃と腸・内科クリニック、(医)さくら小児科医院

石巻市医師会：阿部洋一、相沢正俊、伊藤内科クリニック、川村尚道、
こばやし医院、佐藤信男、医療法人T&K坂井内科胃腸科、高橋邦明、
舘田治、二宮健次、箕田紳一郎、石巻診療所、田中典和、石巻赤十字
病院、久門俊勝、川原田博章、よしろう内科、あらい脳神経外科クリ
ニック、中浦内科医院、佐藤内科医院、しらゆりクリニック、やまもと産
婦人科、石塚圭一、いしのまき矢吹クリニック、古山元之、大街道じゅ
んクリニック

大崎市医師会：木幡光彰、佐藤医院、医療法人森皮膚科医院、大崎市民
病院岩出山分院、大崎市民病院鹿島台分院、大崎市民病院、医療法人社
団慈篤会、医療法人社団近江医院、医療法人永仁会病院、古川星
陵病院、岩刈仁寿、渡辺外科胃腸科医院、医療法人社団千葉医院、沼
田功、高橋郁朗、星眼科医院、有馬和夫、(医)鎌田内科クリニック

登米市医師会：医療法人社団厚和会佐藤医院、登米市病院事業管理
者、結城産婦人科、八嶋中央診療所、医療法人社団遊佐内科胃腸科医
院、登米市立豊里病院、菅原盛家、医療法人社団田中医院、医療法人

社団亮梓会三浦消化器内科、(医)二瓶内科胃腸科医院、登米市立よね
やま診療所、医療法人社団明徳会森整形外科医院

桃生郡医師会：加藤医院、真壁病院、医療法人伊東胃腸科内科、医療
法人桃桜会櫻井内科クリニック、医療法人社団信和会ものうファミリ
ークリニック、ししど内科クリニック

白石市医師会：医療法人社団浅野眼科医院、(医)梅津内科医院、こま
つ外科内科クリニック、公立刈田総合病院、大泉記念病院

名取市医師会：丹野小児科医院、医療法人武田内科医院、田勢亨、桑
島一郎、曾我内科こどもクリニック、佐藤滋、医療法人尚真会たんの
クリニック、佐藤滋彰、那智が丘クリニック、宮城県立がんセンター、
原田乳腺クリニック

亶理郡医師会：熊谷明、医療法人社団三上医院、医療法人三浦クリ
ニック、医療法人社団青藍会、松村クリニック、みやぎ南部整形外科クリ
ニック

■宮婦連

大島婦人会

逢隈婦人会：八巻富士子、三品せつ、佐藤祐子、猪又和子、菱沼和子、
三品美智子、渡辺芳、遠藤佳子

一迫婦人会：氏家あい子、熊谷初美、三浦一子、松田文子、狩野良子

永野支部婦人会：佐藤ひさ代

遠田郡婦連：瀧川澄江、大村涼子、菊地千恵子、鑑清枝、栗野トシ子、
佐々木敬子

階上婦人会：川村和賀枝、小山光子、前田若代、畠山幸子、小野寺美
津子

角田市地域婦人会：鎌田三千子、遠藤美代子、中畑繁子、玉手富美子、
加川昭子、保志都、保志とみ子、村上幸子、白戸千代子、太田恵美子

丸森婦人会：上村文子

岩出山婦人会：北村衛子、橋本美恵子、佐藤妙子、菅原悦子、濱田悦
子、五十嵐ゆり子、加藤志美江、斎藤由起子、佐藤京子、大沼幸子

岩沼市婦人団体連絡協議会：高橋たづよ、相原好子、加藤ち江子、櫻
井よしみ、富田みや子、長田昌子

吉田婦人会：本間利子、穴戸浩子、岩佐美津子、岩佐直子、齋藤律子、
丸子信子、小野美佐子、森美奈子、丸子明美、小野典子、小野礼子、
川崎カツ子、渡部とも子

宮崎婦人会：石橋定子、米澤幸子、笠原文子、

金成婦人会：千田京子、渡辺和子、鈴木美千代

栗駒婦人会：菊地寿美子、菊池清子、佐藤かち子、佐藤すみ子、佐藤多
恵子

古川地婦連：大友富子、菅原末子、佐々木登貴子、永塚正子、西村信
代、晴山たえ子、阿部みえ子、木村一枝、木村洋子、高橋輝美、門脇宗
子、鹿野孝子、我孫子妙子、菅原十四四、高橋せい子、佐藤とし子、浜
田美知子、佐々木幸子、大場典子、島田美枝子、小出和子

荒浜婦人会：濱野かじ子、阿部みや子、穴戸都賀子、馬場道子、橋本貞
子、佐藤富美子、武者信子、穴戸ひろ子、森恵子、渡部とし子、大村正
子、菊地英子

志波姫婦人会：相馬桂子、三浦和代、三浦末枝、菅原峰子、鈴木たみ
子

鹿島台婦人会：今野勝千代、小堤キエ子、久道カヨ子、金澤とよの、阿
部百合子

七ヶ浜町婦人会：鈴木弘子、伊丹はるの、佐藤民恵、千葉志美枝、三島
知恵子

柴田郡婦連：竹野幸子、水戸和子、遠藤勝江、八巻まし子、森恵子

女川町婦人会：飯塚律子、阿部とまえ、阿部苑子、岸サワ子、小山栄子、
高橋京子、伊藤文子、鈴木信子、東海久美子、遠藤悦子、勝又菊枝、木
村佳代子、梁取礼子、平塚文子

小斎婦人会：星京子

松岩婦人会：鈴木玲子、熊谷洋子、新沼照子、齋藤笑子、小野寺秀子、

大友紀、川江礼子、小野政子、小関裕子、齋藤京子、早川つね子、菊地優子

松島町婦人会：及川佳子、横田さえ子、内海美子、高橋さぬ子、高城尚子、岸恵美子、鈴木紘子、桜井貞子、天野安子、櫻井とし江、桜井君子、宮田幸子、樋口弘子、畠山和代、岩本克子

色麻婦人会：佐々木りえ子

西小野田婦人会：三嶋文子、高嶋信子、渡辺栄

多賀城市婦人会連合会：櫻井やえ子、平山千秋、星繁子、庄子よし江、平山照司、鈴木絹子、田母神充代、堀喜喜代子、鈴木誠子、小野くに子、西とし子、後藤愛子、後藤みよ子、笹原うた子、菊田百合子、江釣子真理子、阿部純子、渡辺あや子、根本菊江、佐藤郁子、門田明子、伊藤輝美、佐藤正美、及川順子、佐藤セツ、諏訪部芙美子、松村敬子、千葉美津子、大内芳子、阿部多枝子、椎葉愛子、白浜宣子、小野絹子、渡辺千代子、小野雅代

大郷町婦人連絡協議会：高橋一子、赤間英子

大衡婦人会：遠藤つや子、堀籠幸子、崎山イエ子、大槻静江

大内婦人会：森れい子、作間スエ子

大和町吉岡婦人会：浅野洋子、佐々木登志子、若生みさを、堀籠さと子、早坂真知子、堀籠美江子、今野玉枝

大和町宮床婦人会：浅野よし江、貝田美喜子、浅田レイ子

大和町鶴巣婦人会：千坂かつえ、犬飼元子、門間芳子

第一婦人会：佐藤洋子、小田島成子

中新田婦人会：芳野禮子、佐々木妙子、中島智江

田尻地域婦人団体連絡協議会：佐藤紀子、舞嶽智子、佐瀬弘子、相澤節子、秋山満子、高泉トミ子、高橋憲子、鈴木信枝、鎌田涼子、青木まさ子、宮川マサ子、松野かつ子、高橋道子、鈴木静子、熊谷藤子、遠藤キミ子、砂金真知子、瀬戸恵子、佐々木幸子、千葉孝子、三浦貞子、村上千代子、佐藤美江、村山せつ子、佐藤文子、小笠原勝子、菊地睦子、松田幸江、鎌田光子

登米町婦人会：本間正子、千葉信子、猪股さく子、小堀恵子、佐々木きよ子、千葉みね子、佐々木栄美

東松島市大塩婦人会：眞籠聖子、須田栄子、高橋沙代、高橋和子

白石市地域婦人団体連絡協議会：大森りつ、吉川淑子、渡辺幸子、太田さき子、斎藤ゆう子、大野のり子、佐藤きよ子、佐藤君子、高木笑美子

白石市婦人会：栗原幸江、石川照代、佐藤晴代、堀道子、長谷川治子、村上たき子、草野育子、笠原修子、横山亜衣、黒澤一美

筆甫婦人会：目黒房子

米山婦人会：佐々木邦子、三浦きさ子、高橋ひさよ、後藤直子、菅原清子

豊里婦人会：八木しみ子、大友秀子、遠藤しみ子、只野好子、芳賀芳枝

名取市婦連：渡邊勝子、三浦よね子、本郷セイ子、江口清子、渡辺洋子、高橋志津枝、大久あき子、高橋ケサエ、守智恵、佐藤元恵、三浦妙子、武山みち子、村上禮子、浅倉朝子、館腰婦人会、星居敬子、伊藤清子

利府町婦人会：大友明美、峯岸悦子、高橋なか子、林せつ子、貝山昭子、品部陵子、遊佐和枝、伊藤恵子、伊藤みつ子、佐藤ちよ、小山田律子、阿部まさ子、伊藤千枝、木村みゆき、布施明子、大類直子

亘理婦人会：若松捷子、佐藤キクヨ、渡辺みつ江、高橋泰子、齋藤クニ、岩見富子、三戸部とし江、小野寺貞子、太細田出美、戸引よし子、相原成子、馬場さえ子、佐藤照子、斎藤みよ、佐藤徳子

鶯沢婦人会：千葉たつ子、熊谷靖子、菅原キクミ

■個人

犬飼健郎法律事務所、稲垣晃、越後愛子、及川力、織田信夫、尾坂芳夫、亀岡直樹、北村優、橘川光男、小松亀一、鈴木ハツコ、曾根サイ、高橋堅固、藤代大、亀山省吾、嶋美香、阿部利子、阿部せつ、阿部美代子、菅原傳、笹原啓子、高橋敬一、萩田みつ子、三浦みよ子、土井敏暉、阿部美津江、阿部かしく、安藤裕子、関口清、鈴木八郎、櫻田寛、櫻田孝子、亀山喜美子、出川博一、高橋久子、青柳淑子、結城ケサヨ、我妻倉吉、大泉ちね子、佐藤たまを、萬里崎吉政、江刺公子、浅井壽子、近江弥栄子、菅原恵美子、羽田賢一

■職員

伊藤尚人、岡崎豊、湯田教恵、井上真由美、布田直樹、三部哲也、阿部洋、鈴木里恵、高橋是清、守谷崇

賛助会員(個人・法人の継続寄付)募集中

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究、がん登録管理等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。**個人**の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の**「所得控除」と「税額控除」のいずれか有利な方を選択**して控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇措置としては、**「特定公益増進法人」**に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。

《寄付金の種類》

- 賛助会員寄付** 協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
個人会員 1口 1,000円以上の寄付者(個人)
法人会員 1口 10,000円以上の寄付者(団体・法人)
特定維持会員 寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
- 篤志寄付** 協会の活動に対する一時的な寄付金
- 黒川基金** 黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人 宮城県対がん協会 法人事業課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30 TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548
ホームページアドレス <http://www.miyagi-taigan.or.jp>

「黒川利雄がん研究基金」

研究助成金募集のお知らせ

この基金は、当協会の初代会長である故黒川利雄先生の遺志を継ぎ、がんの予防及び早期発見、治療に関する技術の開発等に係わる若手研究者に対し、研究助成を行うことを目的に平成元年に創設されました。

平成30年までに、119人に対し7,790万円の助成金を交付しています。

1 研究対象分野と応募資格

我国のがん予防および早期発見に関する技術の開発等、がん対策に係わる研究を行う50歳未満の個人および団体で、以下の研究分野を対象とする。

- (1) がんの疫学および集団検診に関する調査・研究・開発
- (2) がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発

2 申請手続き

申請者は宮城県対がん協会の理事または、貴所属長の推薦を受けた者とする。

3 応募件数および推薦件数

1個人・1団体または共同研究グループで1件とし、推薦件数も1人1件とする。

4 助成金の額

助成総額は220万円とし、研究助成金1件あたり100万円を限度とする。

5 応募手続

応募希望者は下記宛にハガキまたはFAXで申し込むか、当協会ホームページより申請書類をダウンロードの上申し込むこと。

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号
公益財団法人 宮城県対がん協会「黒川利雄がん研究基金」事務局 宛
TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548 <http://www.miyagi-taigan.or.jp>

6 募集期日

公 募 2019年1月

募集締切り 2019年3月末日

7 発表交付

発 表 2019年5月

交 付 2019年6月